

サーサナ

第2号 2008年3月1日

住職に就任して

昨年12月13日付をもち、私釋眞弍は教心寺住職を拝命いたしました。今までにお育てをいただいた御門徒の皆様にお礼を申し上げますと共に、今後とも鞭撻をお願いいたします。

真宗寺院の原型は聞法道場だと言われています。住職は寺＝道場の管理人で、寺自体は門徒の共有財産です。当寺もまた、設立当初は「説教所」でした。その原点に立ち返り、常に法が説かれており気軽に出入りできる場、そういう寺にしていきたいと念願しています。みなさま、どうぞ機会を作っては寺にお参り下さい。

法要行事のご案内

各法要・行事に必要な勤行本は、お持ちでない場合は当寺より進呈または貸与いたします。

三月 春彼岸会

「サーサナ」創刊号にてご案内のとおりですが、再掲します。

- *日時 3月17日（月）午前10時～正午
受付開始は午前9時半
- *内容 勤行（観無量寿経訓読、正信偈）、法話（住職）
- *持ち物 勤行本「正信偈同朋奉讃」、念珠、肩衣（お持ちの方）、お布施
- *記念施本 『真宗法要聖典』（永田文昌堂）
- *終了後、本堂にて17日命日の御家族による合同の月忌法要を勤めます。
（ご自宅への訪問はありません）

四月 花祭り

花祭り（正式には「灌仏会」という）は、釈尊の生誕をお祝いする行事です。キリスト教でいうクリスマスに相当します。

- *日時 4月8日（火）午後2時～4時
受付開始は午後1時半より
- *内容 灌仏（誕生仏への甘茶かけ）、散華、勤行（嘆仏偈）、仏教讃歌、DVD「若き日のおしゃかさま」上映、甘茶接待
- *持ち物 勤行本「大谷派勤行集」、念珠、肩衣（お持ちの方）、お布施
- *記念品 甘茶あめ、華葩（けは）
- *終了後、本堂にて1～5日および8日命日の御家族による合同の月忌法要を勤めます。（ご自宅への訪問はありません）



五月 永代経

子々孫々、永代にわたって、浄土三部経が読誦され、仏法が伝えられることを願いとする法要。御懇志を頂いたお方の法名を記した掛け軸をお掛けします。（「永代経」という名前のお経があるわけではありません）

- *日時 5月25日（日）午前10時～午後3時
受付開始は午前9時半より
- *内容 勤行（無量寿経訓読、正信偈）、法話（石原和久師）
- *持ち物 勤行本「正信偈同朋奉讃」「和訳正信偈」「真宗法要聖典」、念珠、肩衣（お持ちの方）、お布施
- *記念施本 『凡夫、ゆきやすき道』（東別院伝道叢書）
- *お斎（昼食）接待があります
- *終了後、本堂にて25日命日の御家族による合同の月忌法要を勤めます。（ご自宅への訪問はありません）

六月 帰敬式

帰敬式は、仏弟子としての名のりである法名をいただく儀式です。法名は死んでから、と思われがちですが、そうではなく、本来は生前に授かっておくべきものです。キリスト教で洗礼名（クリスチャンネーム）がキリスト教徒の証しであるのと同様に、法名を授かることは仏門に帰依したことの大切な証しになります。

すべての門徒の方に受式していただきたいのはやまやまですが、実際には一度には無理ですので、今回は定員30名様とさせていただきます。

- *日時 6月28日（土）午前11時～正午
- *受式費用 20,000円（うち10,000円は本山礼金）
- *先着順にお申込を受け付けます。6月10日締め切り。
- *簡単な事前講習を受けていただきます。
- *お斎（昼食）接待および記念品があります。
- *授与する法名に希望の文字があれば、御相談に応じます。

六月 住職就任式・記念講演

一般に他宗で「晋山式」といわれているところの記念式典です。私が東海専修学院（同朋大学別科）で学んでいた頃の恩師である尾畑文正先生を記念講演にお招きします。

- *日時 6月28日（土）午後1時半～4時
受付は午後1時より
- *内容 勤行（三誓偈）および記念講演
- *記念講演 尾畑文正師（同朋大学文学部教授、真宗学、1947年生まれ、著書に『親鸞を生きるということ』など多数）
講題「世の中安穏なれ 仏法ひろまれ」（仮題）
- *持ち物 勤行本「大谷派勤行集」、念珠、お布施
- *記念品 当寺オリジナル門徒肩衣
- *終了後、本堂にて28日命日の御家族による合同の月忌法要を勤めます。
（ご自宅への訪問はありません）

法務休暇等のお知らせ

4月1～5日、5月10～11日、6月14～15日

以上の期日を法務休暇とさせていただきます。

4月8日午後4時、5月9日午後1時、6月13日午後1時に、本堂にて一座読経いたしますので、上記期間が命日に当たられるご家族の方は、都合がつく限り、どうぞご参詣下さい。

☆連載法話☆

仏事あれこれ（2）～新居にはまずお仏壇～

前回、「法義相続」ということを申しました。これについて思いだすのは、かつて「お仏壇が古くなって新しいお仏壇を購入した。ついでには移徙法要をお願いしたい」と依頼されてうかがったお宅のことです。そこのご主人はすでに年輩の方でしたが、「私が結婚して新居を建てて、そこに老親を招

いたところ、えらい怒られましたね。『お仏壇はどうした!』って言うんですよ。それで慌てて仏壇を買って、それがこの古い仏壇ですわ」と語ってくれました。そう、新居を構えたらまずお仏壇、というのはかつての常識だったのです。しかし今、むしろ逆になって「お仏壇を買うのはお葬式を出してから」というのがまことしやかに言われるようになり、お仏壇をもたないお宅が増えてしまいました。

そもそも、お仏壇は何のためにあるのか、と申せば、ご本尊を奉懸し、日常にお参りして、自らの精神的拠り所とすることにあります。お葬式を出さないうちは用が無い、というようなものでは決してないわけです。

そこでひとつ提案があります。お子さんが結婚して独立された時、御両親からのお祝いとして、小さなサイズのお仏壇を新居に贈られてはいかがでしょうか。台所が物質生活の中心ならば、お仏壇は精神生活の中心です。

永代経懇志お礼

昨年3月1日より今年2月29日までに、下記の方々から永代経懇志を頂戴いたしました。ここにあらためてお礼申し上げますと共に、今後とも法義相続されますことを願いたします。

7月5日 釋尼妙政（願主・*****、10万円）

9月8日 紫香院釋尼妙文（願主・*****、20万円）

10月15日 唯信院釋義浄、富徳院釋尼美歌（願主・*****、20万円）

11月30日 成徳院釋明智（願主・*****、10万円）

2月18日 香華院釋瑛芳（願主・*****、10万円）

門徒会会費について

門徒会への入会手続き、ありがとうございました。まだの方はお早めにお願いたします。いただいた会費については、本紙の発送封筒に貼ってある宛名ラベルに「会費****年」と記載してありますので、ご確認下さい。「9999年」は終身会費を意味します。万が一、誤りがある場合は、お手数ですがお知らせ下さい。

真宗大谷派 教心寺（名古屋教区第30組）

編集発行人 釋眞弼（山口眞一）

468-0026 名古屋市天白区土原3丁目205番地

電話：801-1381 F A X：807-1198 電子メール：kyosin@nagoya30.net

URL <http://www.nagoya30.net/temple/kyosin/>